

令和3年1月期 第2四半期  
**決算説明資料**

バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**

株式会社バリューゴルフ

令和2年9月14日



JPX

東証マザーズ上場

証券コード：3931

---

# 第2四半期における 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響について

---

# 新型コロナウイルス感染症の影響、 並びに当社グループの取り組み（ゴルフ事業）

## 経営環境

- ① 5月、ゴルフ場業界としての「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止ガイドラインが発表される
- ② コンペ・オープンコンペの減少、コンペ後パーティの不開催
- ③ ゴルフ場はスループレーへの切替や少人数（1～3人）でのラウンドの開始、浴場やレストランの閉鎖等の対応
- ④ 店舗への来客減・休業（時短）要請（ジープ社・VG大崎）

## 当社グループの対応

- ① 1人予約ランド：通常4名の予約枠を1～3名に設定できる機能の開発
- ② ジープ社：店舗来客減に対応し、EC通販に注力
- ③ 店舗接客時のマスク着用、店舗・VG大崎の営業時間等復帰
- ④ VG大崎での備品消毒の徹底

# 新型コロナウイルス感染症の影響、 並びに当社グループの取り組み（トラベル事業）

## 経営環境

- ①引き続き外出自粛、越県自粛による出張取りやめ
- ②航空会社等交通機関の運休・減便
- ③入国制限措置による訪日外国人・出国日本人・在日外国人帰国の減少
- ④Go To トラベル事業が開始されるも、東京在住者は除外

## 当社グループの対応

- ①航空機の運休・減便に対応するための迂回ルート確保
- ②従業員の輪番休業を実施し、業務量減少への対応。ワークシェアリングによる雇用維持
- ③政府・都道府県等の各種給付金等への対応。今後の状況に迅速な対応をとるためのキャッシュポジションを確保
- ④Go To トラベルキャンペーンに則した旅行商品の企画・募集

令和3年1月期 第2四半期

---

# 経営成績ハイライト

---

# 業績ハイライト

令和3年1月期 第2四半期決算概要

売上高

2,257百万円 前年同期比 21.3%減



営業利益

20百万円 前年同期比 22.1%増



ゴルフ事業

売上高

1,765百万円 前年同期比 8.8%増



営業利益

241百万円 前年同期比 10.1%増



VG大崎の休業等のネガティブな要因があったにもかかわらず、1人予約ランドが引き続き好調に推移。当社の中核事業としてコロナ禍においても強い商品力を発揮いたしました。また、ゴルフ用品販売では、EC通販が大きく躍進いたしました。

トラベル事業

売上高

470百万円 前年同期比 61.0%減



営業利益

▲58百万円 前年実績 ▲39百万円



依然として業界全体で厳しい経営環境がありますが、引き続きリストラクチャリングを推進し、コストを最小限に抑えました。また、バスツアー・ゴルフツアーの募集再開、Go To トラベルキャンペーン対応商品の募集等、復調の兆しも見られました。

# 損益計算書

単位:百万円

	令和2年1月期 第2四半期	令和3年1月期 第2四半期	増減率	主な要因
<b>売上高</b>	2,867	2,257	▲21.3%	ゴルフ事業:前年同期比8.8%増 トラベル事業:前年同期比61.0%減
売上原価	2,204	1,607	▲27.1%	トラベル事業の売上減に伴う減少
売上総利益	663	649	▲2.0%	
販売管理費	646	629	▲2.6%	トラベル事業におけるリストラクチャリング効果による減少
<b>営業利益</b>	16	20	22.1%	
<b>経常利益</b>	12	26	116.9%	
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	▲3	▲7	—	税効果会計による法人税等調整額の変動

# 利益の増減分析



## 主な要因

### ■ゴルフ事業

1人予約ランド・EC通販が牽引し増益。VG大崎・ジープ店舗の休業等のマイナス要因をカバーする伸び率を記録いたしました。

### ■トラベル事業

引き続きリストラクチャリングを推進したものの、COVID-19の影響により減益となりました。

### ■その他の事業

企業の広告活動削減のあおりを受け減益となりました。

### ■共通費

前期より行ったコスト削減の効果が顕在化いたしました。

# 連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度	令和3年1月期 第2四半期	増減額
流動資産	1,805	1,735	▲70 (①)
固定資産	424	360	▲63
有形固定資産	42	42	+0
無形固定資産	147	116	▲31 (②)
投資その他の 資産	233	201	▲31
資産合計	2,229	2,095	▲133

	前連結会計年度	令和3年1月期 第2四半期	増減額
負債合計	1,178	1,071	▲107
流動負債	966	906	▲60 (③)
固定負債	212	164	▲47
純資産合計	1,050	1,024	▲26
株主資本	1,048	1,022	▲25
その他	2	2	+0
負債純資産 合計	2,229	2,095	▲133

## 主な要因

- ①旅行前払金の減少
- ②のれんの償却

- ③旅行前受金の減少

令和3年1月期 第2四半期

---

# 事業の概況

---

# 事業の概況－ゴルフ事業

## 1 人予約ランドの状況

会員数

**68.3万人**  
(前年比19.8%増)  
※7月末時点

コンペの開催等が自粛される中で、1人で予約可能なシステムが注目され、会員数の増加率は堅調に推移いたしました。

ゴルフ場からの要望に応えた新機能の追加

予約可能人数を制限できる機能を追加

1人予約ランドの機能として、1組4名の予約枠の定員を、1～3名に制限を可能にすることで「密」を回避する機能をリリースいたしました。

# 事業の概況－ゴルフ事業

## ゴルフ用品販売

売上高  
過去最高

前年同期比  
**13.8%増**

店舗の営業自粛・外出自粛等により店舗の売上は苦戦いたしました。それを上回る勢いでECサイトが大幅伸長。売上高は単月での過去最高を記録いたしました。

営業利益  
大幅増加

前年同期比  
**79.0%増**

積極的な仕入を行うことで、欠品による機会損失や価格競争を回避。また、リストラクチャリングを継続的に行ってきた成果が出てきたこともあり、利益を大幅に伸ばすことに成功いたしました。

# 事業の概況ートラベル事業

## 航空券 販売

### 新規取引先の 開拓

出張等の渡航のキャンセルがあいつぐなか、外国人コミュニティ等の航空券需要の高い法人・団体への積極営業を実施。多くの新規顧客からオーダーをいただきました。航空会社のフライトが再開・回復し次第、売上も回復する見込みとなっております。

## 企画型 旅行

### ツアーの再開

国内のバスツアーやゴルフツアーの募集を再開し、感染症拡大防止に配慮したツアーを催行いたしました。

# 事業の概況－その他の事業

## 広告制作 事業

### 企業の 広告宣伝活動減

コロナ禍により企業の広告宣伝活動が減少したことに伴い、広告制作事業は厳しい結果となりました。

## 動画投稿サイトで のチャンネル開設

### ゴルフ事業の リソース活用

予約システム・ゴルフ用品販売・レッスン等のリソースを活用した動画投稿サイトのチャンネルを開設し、事業領域の拡大をいたしました。

令和3年1月期

---

# 今後の取り組み

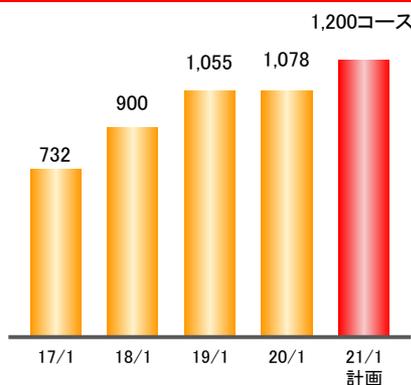
---

# 今後の取り組みーゴルフ事業

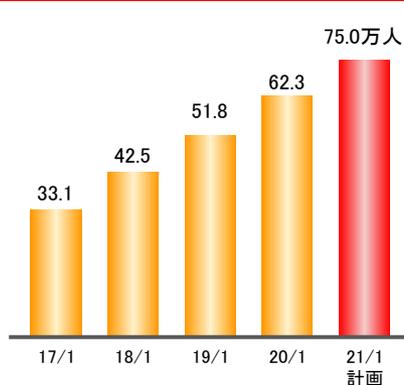
## 1. 中核事業の更なる強化に注力

- ・ 1人予約ランド：①可読性を向上し、ページ離脱率の低減を目的としたデザイン変更を実施。ユーザーにとってより使いやすくインターフェースを採用し、予約数の増加を図ります。  
②当日予約機能や「密」を避けられるプランの予約機能等、withコロナ時代の新しいゴルフのスタイルを引き続き提案してまいります。
- ・ VG大崎：①新型ゴルフシミュレーターを増設、ラインナップを更に充実させ付加価値の高いサービスを提供してまいります。  
②バリューゴルフグループの総力を結集し、他にはない複合ゴルフ施設を目指した改革を進めてまいります。

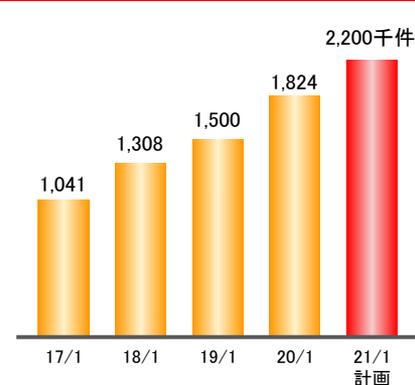
1人予約ランド契約ゴルフ場数



1人予約ランド登録会員数



1人予約ランド年間エントリー数



# 今後の取り組みーゴルフ事業（物販）

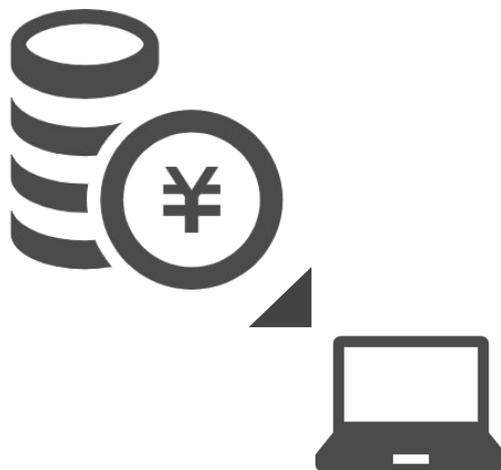
## 2. EC通販の更なる成長と原価抑制による収益性の向上

- EC通販は上期で前年比32.4%増。引き続き販促費を投下し、更なる成長を目指します。
- 利益率の高いOEM商品のラインナップを拡充し、収益性の改善を進めてまいります。
- 商品の大量購買と新たに開拓した仕入ルートを組み合わせた仕入により原価の抑制を図ってまいります。

### 商品大量購買による原価抑制



### ECモールへの費用投下



### PB商品の拡充



# 今後の取り組みートラベル事業

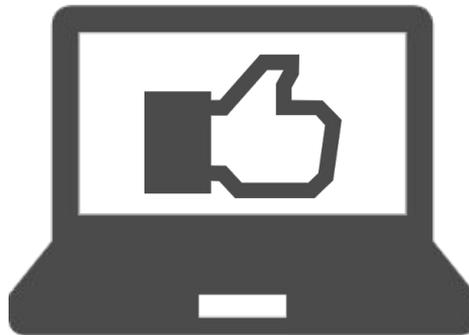
## 3. withコロナ時代に対応した新しい価値の創造

- Go To トラベル事業を活用した企画の募集は好調、全面に押し出して業績回復の起爆剤に。
- 当社の強みである、外国人スタッフによるSNSを活用した在日外国人へのリーチを強化。6月より再開したバスツアーも増加傾向が続いています。
- 当社グループ内のシナジーを活かし、有名ゴルフ場でのプレー等の付加価値をつけたゴルフツアーの開催数を増やしてまいります。

Go To トラベルキャンペーン  
を利用した販促強化



SNSを活用した集客



付加価値のある  
ゴルフツアー

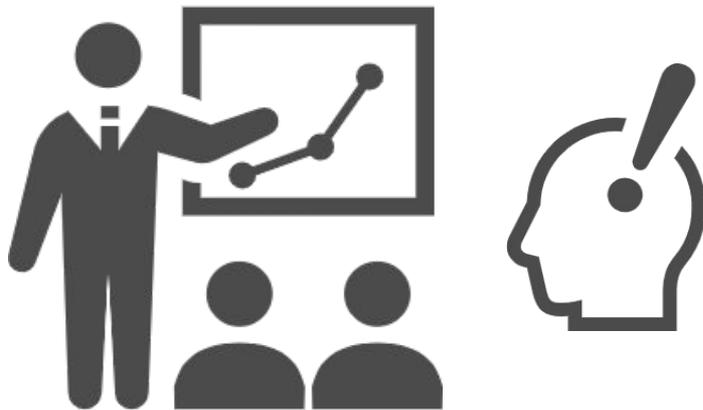


# 今後の取り組み－新規事業

## 4. 既存事業にとらわれない新分野への進出

- 成果が生まれつつある新規事業の専門部署を設置し、戦略的に費用を投下 ※近日中にリリース予定
- 動画投稿サイトの自社チャンネルの早期収益化

新規事業の企画立案・専門部署の設置



動画投稿サイトの収益化



[https://www.youtube.com/channel/UCFQKmmdfRKjMGdyOpani\\_tA/](https://www.youtube.com/channel/UCFQKmmdfRKjMGdyOpani_tA/)

令和3年1月期

---

# 通期連結業績予想

---

# 業績予想

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大等による環境変化により、業績予想は極めて困難な状況であります。今後の動向を注視し、より合理的な算定が可能となりましたら改めて業績予想公表いたします。

	期初予想	修正予想(未定)
売上高 (百万円)	6,000	—
営業利益 (百万円)	140	—
経常利益 (百万円)	120	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	80	—

## 将来見通しに関する注意事項

### 本資料の取り扱いについて

本資料において記述される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特にサービスに関連した見通し情報に存在します。リスク、不確実性には、当社の関連する業界動向、技術的進歩、その他内部・外部要因、サービスの安全性ならびにクレームや懸念、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、サービス開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。従いまして実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承下さい。



バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**

本資料の著作権は株式会社バリューゴルフにあります。本資料の内容の一部または全部における無断転載を固く禁じます。  
本資料に関するお問い合わせは 当社IRグループ (ir-inquiry@valuegolf.co.jp / 03-6435-1535) までお願いします。



東証マザーズ上場

証券コード:3931